

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路整備課
担当課長名：杉本 孝誠

事業名	一般国道438号 上分工区		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県名西郡神山町上分字門屋 至：徳島県名西郡神山町上分字川又西				延長	1.6km
事業概要	当事業は、「第3次緊急輸送道路」に指定されている一般国道438号における幅員狭小や線形不良などの隘路を解消する事業である。「岳人の森」「神山温泉」、などの周辺観光地及び「剣山」へのアクセス性が向上し、また、物流促進等により神山町の地域活性化にも繋がる事が期待される。					
平成15年度事業化	—		平成15年度用地買収着手	平成15年度工事着手		
全体事業費	37億円		事業進捗率	77%	供用済延長	0.9km
計画交通量	1,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体) 0.9 (1.1)※1	(残事業)/(事業全体) 6.7/49.1億円 事業費：6.6/48.4億円 維持管理費：0.1/0.7億円	(残事業)/(事業全体) 10.8/42.8億円 (16.6/51.3億円)※1	令和4年度		
	(残事業) 1.6 (2.5)※1		走行時間短縮便益：10.2/40.3億円 走行経費減少便益：0.5/2.3億円 交通事故減少便益：0.1/0.2億円 環境負荷低減便益：0.1/0.1億円※2 救急救命率向上便益：5.7/8.4億円			
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=0.8~1.0(交通量 ±10%) 事業費：B/C=0.9~0.9(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=0.9~0.9(事業期間±1年)</p> <p>【残事業】交通量：B/C=1.5~1.8(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.5~1.8(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.6~1.7(事業期間±1年)</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 防災、減災効果：大型車すれ違い困難区間2.4kmの解消（最小幅員2.7m）や落石危険箇所3箇所の解消 避難所やヘリコプター降着所等の防災施設へのアクセスルートの強化 周辺地域の効果：キャンプ場や植物園等の観光施設へのアクセス性の向上 バイパス整備により、人家連たん地内における事故発生箇所を回避 					
関係する地方公共団体等の意見	沿線市町村で構成される「国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会」から早期整備を求める要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年3月 一般国道438号府能バイパス(延長5.0km)の開通 平成25年1月 神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス 開業 令和5年4月 神山まるとと高等専門学校開校 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度までの供用区間は全延長1.6kmのうち約0.9km 残事業はトンネル(1基)、橋梁(2橋)を含むバイパス部の約0.7km 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	相続人多数により、用地取得の遅延が生じている。今後は土地収用法の活用を検討するなど、残る用地取得及び工事促進に取り組み、整備推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 整備効果を早期に発現するため、工区ごとに部分供用する。 コスト縮減のため、建設発生土を有効利用し工事を実施する。 					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。					
事業概要図						

・総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。

・総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがあります。

※1 環境負荷低減便益、救急救命率向上便益を考慮した事業費及びB/C。 ※2 環境負荷低減便益（騒音・CO2・NOXの低減）。